

普及啓発報告

協議内容 (H29.11.9)

1. 協議会広報誌について

1) 内容・他

- ・ A4一枚表・裏のタイプでいいのでは
- ・ 字を大きく、絵などを活用してわかりやすくする
- ・ 協議会の紹介（作業部会での決定の報告など）
- ・ 研修内容報告
- ・ コラム（認知症予防、口腔ケアなど）
- ・ 各職種の仕事内容についての紹介、分担して
- ・ パンフレットなどの発行の案内
- ・ 最初は地域包括支援センターの案内について特集したらどうか
（それ以降は必ず包括支援センターの連絡先の欄を入れる）
- ・ チェックシートを入れて、介護予防などにつなげる
- ・ 事例紹介
- ・ 介護保険の保険外サービスについての紹介
- ・ 民生員が直接渡しに行くことで訪問するきっかけが作れる

2) 発行ペース

- ・ (予算にもよるが) 3～4ヶ月おきに
- ・ 最初は2ヶ月くらいのペースでアピールする
- ・ 年2回（少し充実した内容でA3見開き表裏）

2. 市の介護保健冊子の活用について

- ・ 健康教育などの場で配布や
- ・ 各自治会役員会などで民生委員が説明して配布する
- ・ 相談連絡先を大きくわかりやすい部分に明記する
- ・ わかりやすく、見たくなるようなデザインにする
- ・ 主介護者が立ち寄りやすい場所に設置（公共施設、病院、薬局など）
 - * 資料の説明ができるようにしておく→勉強会が必要？
- ・ 介護保険の流れの部分的なページを別に配れるようにする
- ・ スーパーへの設置

薬剤師会 藤井様

広報誌内容

- ・ 介護という重い言葉が初めから前面に大きく出ていないほうがいいと思う。
- ・ 誰にでも利用出来る可能性を広報してほしい。(保険利用出来るかどうかは別として)
- ・ 少しの支援で自宅での生活が続けられる事から始まって最終的になるべく長く自宅での生活が可能な支援を受け続けられるその道筋を示してゆければと思います。
- ・ その後の順番として施設入所とかになるのかとは考えますが先ずは敷居は低く困っている事の相談にのって行きます、というような姿勢を示していければと思います。

広報の方法

どなたか以前言われていたかと思いますが、不特定多数が目にする回覧板の利用がまず良いと思います。

その後部数その他許される範囲で利用が想像される方が集まりそうな場所に置いていただくようお願いできればと思います。